ALL JAPAN

EV-GP SERIES

2023 ROUND 6

第6戦｜全日本 筑波 EV 60kmレース大会

2023年10月9日(月・祝) 雨天決行　**筑波サーキット**

主催：日本電気自動車レース協会（JEVRA）
大会後援：東京中日スポーツ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

COOL CHOICE

JEVRA

jevra.jp

災害用充電車 T救号

普段はEV充電車、緊急時には電源車に!!

～仕様により様々なアジャストが可能です～



■車両スペック

車両	日野デュトロ（N04C）
搭載発電機	HMG（hybrid magnetic generator）×3基
発電機搭載箇所	追加コンプレッサー取付部×1基・フライホイールPTO部×2基
発電機出力容量	DC300V−50A 15kVA（発電機1基あたり）
搭載バッテリー	東芝製　SCiB 2P12S×10個直列
バッテリー容量	DC300V−40A 12kVA
Total出力容量	DC300V−190A 57kVA（発電機3基＋バッテリー）
搭載充電器	DCJ503D4AUF（デルタ電子製）・True-G50（Milla-E50 菊水電子工業製）
出力電圧	DC12V / DC24V / DC300V / AC100V / AC200V（3φ） ※出力電圧は仕様により任意に変更可能

東洋電産株式会社

東洋電産株式会社 愛鷹テクノセンター
〒410-0301 静岡県沼津市宮本243番7
TEL:055-929-0511

JEVRA 出張充電サポートのご案内

日本電気自動車レース協会（JEVRA）では、2014 年より出張充電サポートを開始して以来、数多くの充電サポートを行って参りました。
全国各地にお伺いして出張充電サポートを様々な会場で行っておりますので、是非ご活用下さい。

移動充電サポート会場（例）

- ■EV ディーラー研修会
- ■EV 走行会
- ■ジャーナリスト EV 試乗会
- ■EV イベント会場
- ■急速充電器の無い会場
- ■一般 EV 試乗会
- ■EV 同好会のオフ会



移動充電サポート内容

- ■50kW/h 出力の急速充電器による充電サポート。
- ■電源は、300kVA 出力の電源車で稼働致します。
- ■接続プラグは、CHAdeMO（日本）/CCS1（米国）/ CCS2（欧州）/GBT（中国）に対応致します。

ご利用料金

※充電サポート会場によって異なりますので、お気軽にお問合せ下さい。

- ■急速充電器ご利用料（50kW/h 出力）
- ■電源車ご利用料（延長ケーブル等の御使用料が別途必要です）
- ■宿泊代（宿泊を伴う場合）
- ■高速料金（高速道路を使用する場合）
- ■車両移動燃料代（急速充電器＆電源車）
- ■電源車燃料代（急速充電器稼働時使用燃料代）
- ■車両超過距離加算（片道100Km 以上）



JAPAN ELECTRIC VEHICLE RACE ASSOCIATION

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-6-30
株式会社エムアンドティプランニング内
日本電気自動車レース協会（JEVRA）
03-6411-0092 ev-charger@jevra.jp
jevra.jp

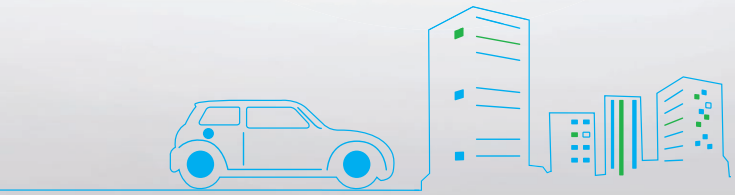
100kW
2出力同時充電

世界標準
OCPPスマート
チャージング

小型化による
設置面積の削減と
コストの低減



新製品



EV/PHEV用 100kWDC充電器
EVHJ104シリーズ

- 最大定格出力100kW
- 世界最小・最軽量クラスの省スペース設計
- CHAdeMO、CCS1/CCS2に対応可能
- 決済・クーポン発行サービス「EZQC」対応
- クラウドサービス対応



サービス
エリア　駐車場　充電サービス
ステーション　商業地域　運輸・輸送
ハブ

DELTA
Smarter. Greener. Together.

デルタ電子株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-14 TEL:03-5733-1111
http://www.delta-japan.jp e-mail:jpmarketing@deltaww.com

2023 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 筑波 EV 60Kmレース大会

ROUND 6

MESSAGE

開催のご挨拶



日本電気自動車レース協会（JEVRA）
理事長 関谷 正徳
Masanori Sekiya

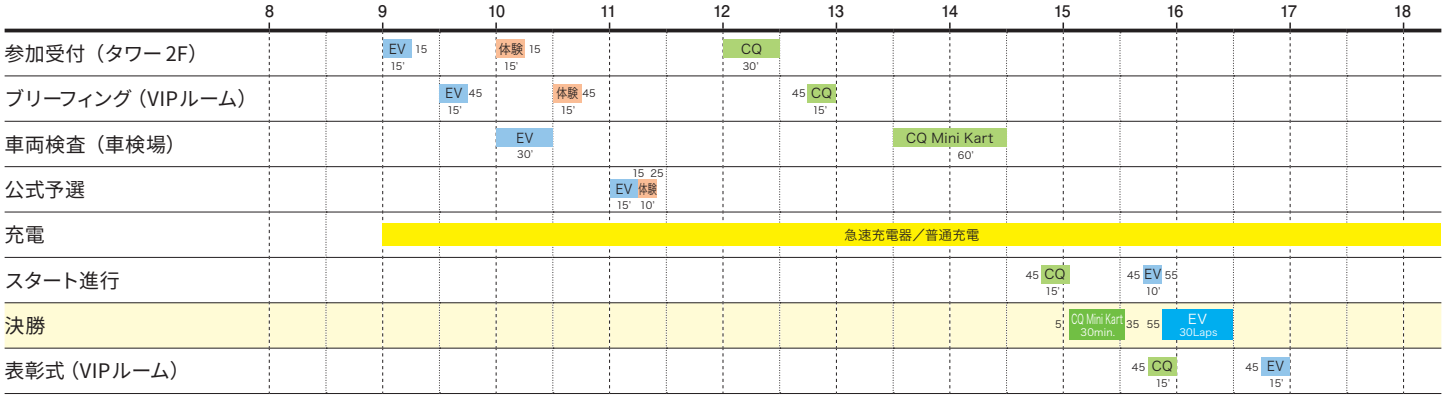
日本電気自動車レース協会（JEVRA）は、地球温暖化防止と電気自動車（EV）産業発展および優秀な人材育成を目的に2010年3月に設立して2023年で14シーズン目を迎えました。地球規模で温暖化によると思われる環境破壊が進む中で、“環境に優しいEVレース”を通じて「地球温暖化に対する意識 改革」を推進致します。
また、SDGsの達成に向けた取組みも行い、“気候変動”という国境のないグローバルな課題に挑戦して参ります。気象パターンは変化し、海面は上昇し、異常気象は益々激しくなり、温室効果ガスの排出量は史上最高水準に達しています。このような様々な難題の解決策として、カーボンニュートラルを目指すこれからの時代は、EVに充電する電力も限りなく「再生可能エネルギー」の使用を目指し、「開発の場」としてのモータースポーツフィールドを活用したEV開発のスピードアップに貢献出来るよう努め、将来を担うEV産業の優秀な人材育成にも「EVレース」を通じて教育環境を提供して参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

2023 CALENDAR

第1戦	4月22日（土）	55km	**筑波サーキット**／茨城県
第2戦	5月14日（日）	55km	**富士スピードウェイ**／静岡県
第3戦	6月18日（日）	55km	**袖ヶ浦フォレストレースウェイ**／千葉県

第4戦	8月11日（金・祝）	60km	**袖ヶ浦フォレストレースウェイ**／千葉県
第5戦	9月23日（土）	55km	**スポーツランドSUGO**／宮城県
第6戦	10月9日（月・祝）	60km	**筑波サーキット**／茨城県

TIME SCHEDULE



※タイムスケジュールは天候その他の理由により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

ORGANIZATION

- 開催日　令和5年10月9日（月・祝）
- 会場　筑波サーキット／茨城県
- レース距離　60km（2.045km×30周）
- 主　催　日本電気自動車レース協会（JEVRA）
- 組　織
  - 理事長　関谷 正徳
  - 理　事　舘　信秀
  - 理　事　藤本 康孝
  - 理事/事務局長　富沢 久哉
- 大会協賛
  - 株式会社ブリヂストン
  - 住友ゴム工業株式会社
  - 横浜ゴム株式会社
  - 東洋電産株式会社
  - デルタ電子株式会社
  - ICCインターナショナル株式会社
- 特別会員
  - 電気自動車普及協議会（APEV）
  - EVオーナーズクラブ（EVOC）
- 大会後援
  - 東京中日スポーツ
- JEVRA賛助会員
  - 株式会社ブリヂストン
  - 住友ゴム工業株式会社
  - 横浜ゴム株式会社
  - 日本道路株式会社
  - 東洋電産株式会社
  - 株式会社繁原製作所
  - デルタ電子株式会社
  - ICCインターナショナル株式会社
  - 株式会社日本ヴューテック
  - 株式会社トムス

JEVRA JAPAN ELECTRIC VEHICLE RACE ASSOCIATION　jevra.jp

日本電気自動車レース協会（JEVRA）
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-6-30
株式会社M&Tプランニング内
TEL.03（6411）0092

［ホームページデザイン］
ライソン株式会社
［プログラムデザイン］
デザイン：Tecmag

YOKOHAMA



タイヤは、雨で選ぼ。

BluEarth AE-01Fから
BluEarth-GT AE51に替えると
雨の日に約20%※1短く止まれる!

雨でもよりちゃんと止まれる
ウェットグリップ性能グレード「a」のタイヤ

業界初400サイズ突破
※2022年10月時点



横浜ゴム株式会社 0120-667-520 | www.y-yokohama.com/product/tire/ 月に一度は空気圧の点検を。

詳しくはこちら

※1 ブレーキが効き始めてから車が完全に停車するまでの制動距離を測定する試験結果より算出。制動距離は、天候、路面の状態、車両の重量、乗客数、積荷などの条件によって異なります。【試験タイヤ】サイズ:205/60R16 92V、使用リム:6 1/2JJ、空気圧:260/240/kPa、摩耗程度:慣らし走行済み【試験条件】試験場所:当社テストコース D-PARC(屋外)、試験路面および状態:アスファルトによる一般舗装路面水深1.0±0.5mm、試験車両ドライバー:当社テストドライバー、制動初速:100km/h【試験車両】車名・型式:Audi A4(ABA-8WCVN)2018model、排気量:1.39L、駆動方式:前輪駆動、全輪試験タイヤ装着、荷重条件:2名乗車相当、ブレーキ形式:全輪制動、ABS有

2023 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 筑波 EV 60Kmレース大会

ROUND 6

ENTRY LIST

エントリー：参加18台

No.	ドライバー	クラス	車 名	電池/容量	モーター出力	タイヤ	エントラント	代表者
0	密山 祥吾	EV-1	TAISAN BIR アデナウ 3 福島	Li/75kWh	360kW	DL	Team TAISAN	千葉 泰常
1	地頭所 光	EV-1	TAISAN 東大 BIR 3 福島	Li/75kWh	360kW	YH	Team TAISAN	千葉 泰常
2	余郷 敦	EV-1	タイサン BIR BOSCH 3 福島	Li/75kWh	360kW	DL	TEAM TAISAN	千葉 泰常
3	廣瀬 浩明	EV-R	千葉県自動車大学校 WHITE-NOTE	-	80kW	BS	廣瀬 浩明	廣瀬 浩明
6	大野 博美	EV-R	千葉県自動車大学校 AURAe-POWER	-	100kW	BS	Barn RACING	大野 博美
10	Rina Ito	EV-2	TAISAN ROADSTER 福島	Li/53kWh	215kW	YH	Team TAISAN	千葉 泰常
23	KIMI	EV-1	Gulf Racing Plaid	Li/100kWh	750kW	BS	Gulf Racing Japan	八代 公博
26	天田 啓紀	EV-R	MKproject NOTEePOWER	-	80kW	DL	KAWANO MKproject RACING	三井 亮
35	TAKAさん	EV-1	スエヒロ Rush モデル 3 BMS a066	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロ自動車商会	鈴木 淳
39	アニー @ニキ	EV-1	スエヒロ RUSH モデル 3 ES	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロ自動車商会	鈴木 淳
55	モンド スミオ	EV-2	モンドカー モデル 3 SR+	Li/55kWh	225kW	YH	モンドコーヒー	神谷 貴之
77	本間 康文	EV-3	Mother Audio NJS ZE1	Li/40kWh	110kW	YH	NJS RACING	本間 康文
88	レーサー鹿島	EV-2	東洋電産・LEAFe+	Li/62kWh	160kW	YH	東洋電産株式会社	伊藤 晃
89	渋谷 和則	EV-3	ホンダアクセス MS 部 Honda e	Li/35.5kWh	113kW	YH	ホンダアクセス MS 部	黒石田 敏文
104	飯田 章	EV-F	トーヨーシステム CNR ミライ AKIRA	-	134kW	DL	AKIRA RACING	飯田 章
106	sono106	EV-1	全 SC 制覇 Model3	Li/75kWh	377kW	YH	106 RACING	園頭 徹
555	廣瀬 多喜雄	EV-R	e-Power オーラ NISMO	-	100kW	BS	OIRAKU RACING	廣瀬 多喜雄
634	山下 将史	EV-C	MuSASHi D-REV シビック EVR	Li/40kWh	110kW	YH	D-REV@武蔵精密工業	加藤 宣保

［クラス］EV-1=モーター出力251kw以上 / EV-2=151Kw以上251kw未満 / EV-3=151Kw未満 / EV-S クラス=SUV車両(出力自由) / EV-C=市販車改造(出力自由) / EV-F=燃料電池車両(FCV) / EV-R=レンジエクステンダー /EV-P=プロトタイプ
［タイヤ］BS=ブリヂストン / DL=ダンロップ / YH=ヨコハマ　［電池］Li=リチウムイオン電池

POINT RANKING

総合

順位	氏 名	Rd.1 筑波	Rd.2 富士	Rd.3 袖ヶ浦	Rd.4 袖ヶ浦	Rd.5 SUGO	Rd.6 筑波	TOTAL
1	余郷 敦	15	15	12	20	20		82
2	TAKAさん	20	20	15	12	12		79
3	アニー @ニキ	12	12	20	10	10		64
4	鵜飼 龍太	8	6	8	—	6		28
5	レーサー鹿島	6	8	10	3	0		27
6	本間 康文	4	4	4	1	4		17
7	山下 将史	—	10	—	6	—		16
8	地頭所 光	—	—	—	8	8		16
9	密山 祥吾	—	—	—	—	15		15
〃	久保 凛太郎	—	—	—	15	—		15
11	廣瀬 多喜雄	—	2	6	2	3		13
12	大野 博美	3	3	3	0	2		11
13	水谷 侑司	10	—	0	—	—		10
14	飯田 章	—	—	—	4	—		4
15	廣瀬 浩明	—	1	—	—	—		1

クラス	順位	氏 名	Rd.1 筑波	Rd.2 富士	Rd.3 袖ヶ浦	Rd.4 袖ヶ浦	Rd.5 SUGO	Rd.6 筑波	TOTAL
EV-1	1	余郷 敦	15	15	12	20	20		82
	2	TAKAさん	20	20	15	12	12		79
	3	アニー @ニキ	12	12	20	10	10		64
	4	地頭所 光	—	—	—	8	8		16
	5	密山 祥吾	—	—	—	—	15		15
	〃	久保 凛太郎	—	—	—	15	—		15
EV-2	1	レーサー鹿島	20	20	20	20	—		80
EV-3	1	本間 康文	20	20	20	20	20		100
EV-C	1	山下 将史	—	20	—	20	—		40
	〃	水谷 侑司	20	—	0	—	—		20
EV-F	1	鵜飼 龍太	20	20	20	—	20		80
	2	飯田 章	—	—	—	20	—		20
EV-R	1	大野 博美	20	20	15	15	15		85
	2	廣瀬 多喜雄	—	15	20	20	20		70
	3	廣瀬 浩明	—	12	—	—	—		12

1位:20point/2位:15point/位:12point/4位:10point/5位:8point/6位:6point/7位:4point/8位:3point/9位:2point/10位:1point

※同点の場合は優勝回数の多い順／2位以下も同等とするが､それでも同点の場合は最終戦の順位が上位者を優位とする。



限界を楽しめ。
Into The Zone

あきらめることはしない。妥協することもない。私の走りには、高揚と挑戦という私だけの楽しみがある。
競うのではなく、自らの心に挑む。
思い描いていた境界や限界が、溶解していく。そのとき、走る歓びが、全身を駆け抜ける。
スポーティーなドライビングを愛する者だけが知る、至福のとき。
POTENZA。その走りはいま、新しいスポーツの世界を拓く。

POTENZA

さらなる高みに到達した、
プレミアムPOTENZA

POTENZA S007A



幅広い車種に対応する、
スタイリッシュPOTENZA

POTENZA Adrenalin RE004



最速へのこだわりが生んだ、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA RE-71RS



ラップタイム短縮を追求した、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA RE-12D
RE-12D TYPE A



ラップタイム短縮を追求した、
ハイグリップスポーツタイヤ

POTENZA RE-09D



株式会社ブリヂストン
［お客様相談室］フリーダイヤル0120-39-2936
受付時間：月～金（祝日および指定休日は除く） 9:00～17:00
www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

2023 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 筑波 EV 60Kmレース大会

ROUND 6

環境に優しい電気自動車(EV)レース

2010年にスタートして今年で14シーズン目を迎えた「日本電気自動車レース協会(JEVRA)」が主催するカーボンニュートラルを目指した“地球環境”に優しいモータースポーツがEVレースだ。走行中の二酸化炭素(CO2)の排出をゼロにし、地球温暖化を抑える優しいEVレースは、これからの新しいモータースポーツとして世界中で注目されている。新しい時代を牽引するEVを「レース」というフィールドで競い合うことにより互いの性能を鍛え上げて技術開発のスピードアップと市販車へのフィードバックを目的にEV-GPシリーズは開催される。最終戦は18台による戦いが筑波サーキットをステージに最長距離の60Km(30周)で行われる!!

EVによる8クラスによる戦い

EV-GPシリーズは、昨年からクラス変更により、全8クラスに分かれての戦いが行われる。EV市販車クラスは、駆動モーター最大出力による3クラスとSUV(スポーツユーティリティービークル)だけによるEV-Sクラスに分かれる。総合優勝争いに一番近いのが、EV-1クラスで251kW以上のポルシェタイカン、テスラモデル3などだ。EV-2クラスは、151kW以上251kW未満で対象車種は日産リーフe+(160kW)とテスラモデル3のスタンダードレンジプラスの参加でより激しい争いに期待が掛かる! EV-3クラスが151kW未満で日産リーフ(110kW)やマツダMX-30(107kW)などのエントリーが対象車種となる。EV-Sクラスはモーター出力自由で日産アリア、メルセデスEQC、アウディe-TRON Q4などが対象となり、市販車のエンジンをモーターに転換したEV-C(コンバート)クラス(出力自由)と、開発もしくはレース専用に製作されたEV-P(プロトタイプ)クラス(出力自由)がある。EV-Fクラスは燃料電池車(FCV)と、“エンジンで発電する”EV-R(レンジエクステンダークラス)の走りにも注目したい。以上の8クラスがそれぞれのクラスで勝負を競い合うことになる。

筑波ラウンドの見どころ

EV-1 クラス
モーター出力251kW以上

6台のテスラ・モデル3が総合優勝を目指し凌ぎを削るEV-1クラス。昨年度クラスランキング2位の余郷敦選手、そして第1・2戦を連覇して勢いに乗るTAKAさん選手と第3戦で初優勝したアニー@ニキ選手の優勝争いに地頭所光選手が復活してくる! また、2戦目の密山祥吾選手と初参加のsono106選手の活躍にも注目だ! また、満を持しての復活がKIMI選手だが、テスラモデルS Plaid(750kW)のハイパワーを持込んで来たので6台のモデル3との総合優勝争いが楽しみだ!



EV-2 クラス
モーター出力151kW以上
251kW未満

EV-2クラスには、昨年クラスチャンピオンのレーサー鹿島の日産リーフe+(160kW)が孤軍奮闘していたが、テスラモデル3(225kW)をモンドスミオ選手がテスラロードスター(215kW)のRina Ito選手とこのクラスに初参戦するので、3台の争いに期待したい!



EV-3 クラス
モーター出力151kW未満

このクラスには110kW仕様の現行型日産リーフを駆る本間康文選手に初登場のホンダe(113kW)で 渋谷和則選手が初挑戦するので、メーカーを超えた争いに注目したい!また、 世界標準となる「グローバルエントリークラス」車両のさらなる参加にも期待したい。



EV-S クラス
SUV車両/モーター出力自由

一昨年から新設されたEV-Sクラス。メルセデスベンツ・EQCや日産アリアなど、世界のカーメーカーが続々とSUVタイプのEVを発売する今こそ、新たなエントリーが待ち望まれる。



EV-C クラス
市販車にモーターと
バッテリーに変換した車両

EV-C(コンバート)クラスは、市販車ベースのエンジンをモーターとLiバッテリーに変換し「EV」に改造した車両による争いとなる。CIVICのコンバートで健闘を見せる山下将史が今に大会エントリー。毎戦、熟成の進んでいる車両で、どこまで上位争いに食い込めるかに要注目だ!



EV-F クラス
燃料電池車両

EV-Fクラスには、8月の袖ヶ浦大会に今年初参戦した飯田章選手がトヨタ・MIRAIで参戦する。今後ますます拡大が期待される水素社会の牽引役として、その走りから目が離せない!



EV-R クラス
レンジエクステンダー

レンジエクステンダーは“エンジンで発電する”新しい発想の車両だ。このクラスの対象は、BMW i3 REXと日産ノート e-POWER/オーラ e-POWERの3車種となる。新型オーラを駆る大野博美選手と廣瀬多喜雄選手のチャンピオン争いに廣瀬浩明選手と初参戦の天田敬紀選手が初参戦するので4台の熱いバトルに注目だ!



EV-P クラス
開発車両もしくは
レース専用車両

開発車両/レース専用車両のプロトタイプクラスだが、“未来のEV開発”の為に、カーメーカーからの参戦を期待したい!



I・C・Cインターナショナルは
お客様のあらゆるニーズにお応えし
電源が必要などんな場所へも最適な電気を供給いたします。



4tタイプ

周波数　50Hz 270KVA
　　60Hz 300KVA
出力型式　三相3線/三相4線式
出力電圧　100V/200V/400V
〈使用実例〉コンサートツアー、機器展示会



4t特殊無停電電源車

周波数　50Hz 125KVA
　　60Hz 150KVA
出力型式　単相3線/三相3線/三相4線式
出力電圧　100V/200V
〈使用実例〉CM撮影、スポーツ中継



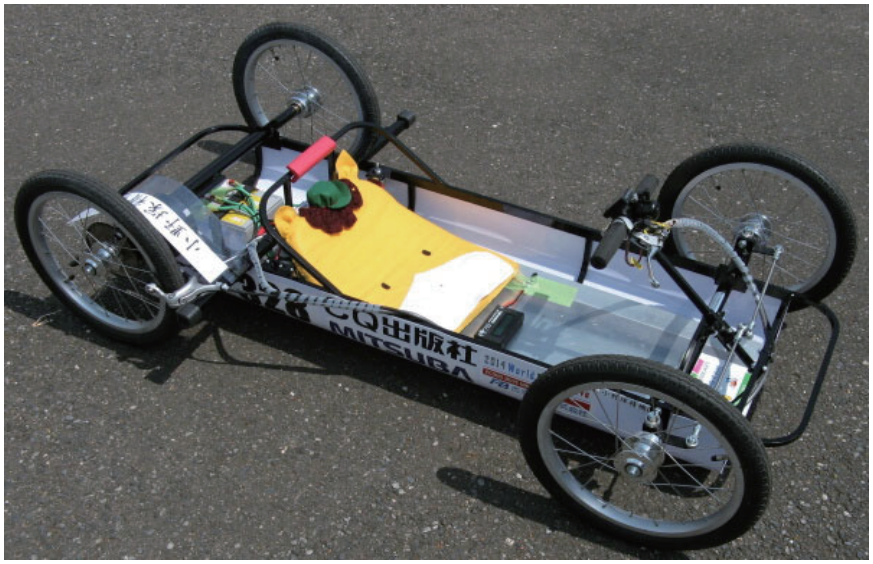
Smile & Security
笑顔と安心のために

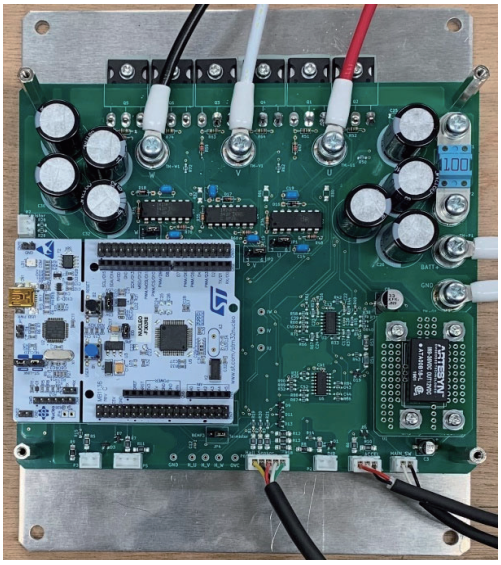
I・C・C International

トスネットグループ
I・C・Cインターナショナル株式会社

上記のQRコードからも弊社ホームページにアクセスできます
ICCインターナショナル　検索

トスネットホームページ





小野塚精機はミニカートとインバータ
キットで電動化を応援しています。

オノヅカ

www.onozka.com

マイコンによるモータ制御を体験してみませんか

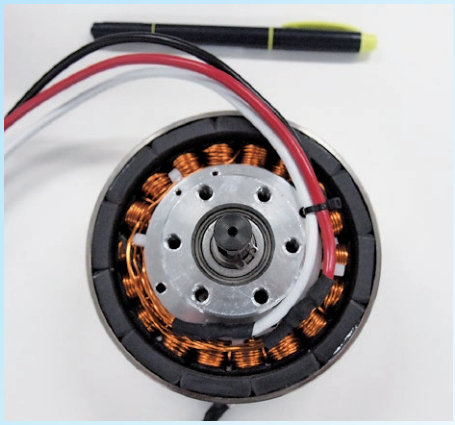


写真1　巻き線や駆動回路の工夫次第でスーパーカブ並みの出力を出せるDCブラシレス・モータ

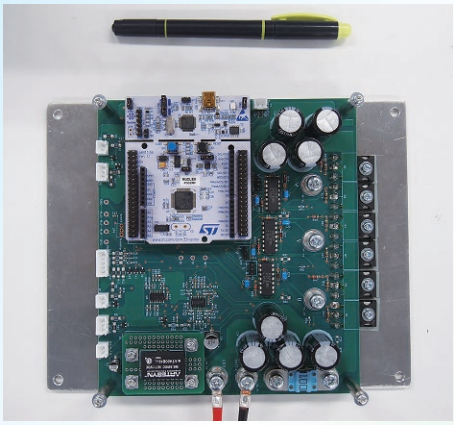


写真2　モータ・ドライバ・ボード

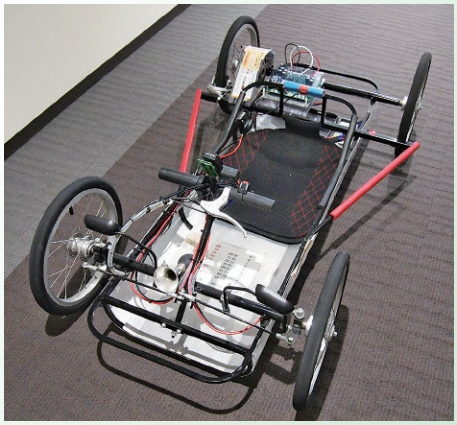


写真3　レースに参加するなら必須のカート車体

EV (Electric Vehicle) 時代です.

CQ出版社では，学生や社会人がマイコンによるモータの制御を体験するためのEVカート関連の部品を販売しています．関連の部品は次で構成されます.

- ブラシレス・モータ (100 ～ 200W，**写真1**)
- モータ・ドライバ・ボード (含マイコン・ボード，**写真2**)
- カート車体 (**写真3**)

主役となるマイコン・ボードは市販のNUCLEO-F302R8 (Cortex-M4，72MHz) で，プログラムの開発環境はmbedです．走行のための基本プログラムや，改良のためのプログラム解説書付きです．学生の理解レベルに合わせて始められます．詳細は下記URLで.

https://evcart.xsrv.jp/

上記キット開発協力▶製造元：(株) ミツバ，小野塚精機 (株)

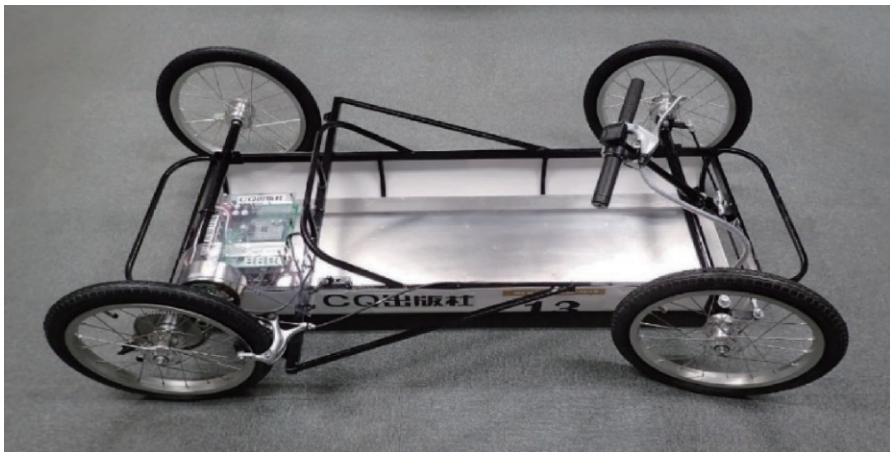
CQ出版社　〒112-8619　東京都文京区千石4-29-14　☎03-5395-2122

2023 CQ EV MINI-KART RACE

2023年 CQ EVミニカート・レース 筑波大会　10周年記念大会

「CQ EVミニカート・レース」は、2023年で10年目を迎えました。

「CQ EVミニカート・レース」は、2014年11月袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ（千葉県）で第1回を開催、以後年1ないし2回ペースで開催し、2016年からは会場を筑波サーキットで開催しています。10周年を迎える本大会には、過去最大32チームのエントリがあります。一般部門8チームに対して、学生部門は24チームも参戦します。一般と学生の違いは、ドライバの体重（レーシング・ウェア、ヘルメット装備込み）規定です。一般65kg、学生55kgと10kgの差を設けています。



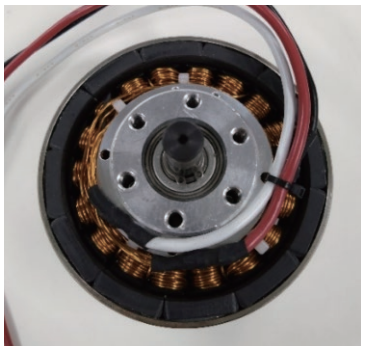
写真①
レースで使用する
CQ EVミニカート

車両（写真①）は、丸角それぞれ数本のスチールパイプを溶接した、バスタブ構造のキット・カートのワンメイクです。その上でモータ設定技術、モータ制御技術、車両整備技術の違いによる走行距離を競っていただきます。

1. 同一仕様のモータ（写真②）
   ただし、コイルの巻き方/巻き数は自由
2. 同一車両
3. 同一電池

3-1. 鉛蓄電池12V x 2個のNomal Class

3-2. リチウム・イオン電池によるUnlimited Class



写真②
コイルを手巻きで作る、
3層ブラシレス・モータ

なお、Unlimited Classで参加の場合は、総合順位での入賞の対象とはなりません。
空力パーツ（カウル）装着は認めらません。



写真③ 2023年2月22日（水）、オートポリス レイクサイドコース（大分県日田市）にて開催された九州大会の様子

ENTRY LIST

エントリー：参加32台

緑色 … 学生チーム　黄色 … Unlimited部門　入賞対象外

ゼッケン	ドライバー	所属・エントラント	車　名	モータ・コイルの巻き方	コントローラ	モータ・コイルの線径	モータ・コイルの巻き数（1スロット当たり）
1	伊藤 佳樹	日立産業制御ソリューションズ	勝田CS-01	6並	自作コントローラ	1mm未満径	20T～
2	松丸 剣	つくば自動車大学校 Aチーム	tact-01	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	11T～15T
3	角田 昂生	つくば自動車大学校 Bチーム	tact-02	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	11T～15T
4	石田 遼太郎	つくば自動車大学校 Cチーム	tact-03	2直3並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	11T～15T
5	辻野 航	KJTD	Ultrasonic号	2直3並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	20T～
6	内田 修弘	ふじちゃんず	ふじちゃん	2直3並	自作コントローラ	1mm径（純正）	20T～
7	黒岩 琢磨	筑紫台高校自動車研究部	R30-1	2直3並	コントローラ純正（従来型）	その他	16T～19T
8	齊藤 煌太	筑紫台高校自動車研究部	R30-2	2直3並	コントローラ別製品	その他	16T～19T
9	木村 奈津希	福岡工業大学工学部電気工学科	チームA	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	16T～19T
10	上野 優真	福岡工業大学工学部電気工学科	チームB	3直2並	コントローラ純正（従来型）	1mm径（純正）	16T～19T
11	橋本 陵汰	福岡工業大学工学部電気工学科	チームC	3直2並	コントローラ純正（従来型）	1mm径（純正）	16T～19T
12	塚本 大航	福岡工業大学工学部電気工学科	チームD	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	16T～19T
13	西 翔太朗	福岡工業大学工学部電気工学科	チームZ	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	16T～19T
14	石井 凌大	日本工業大学 電気電子通信工学科 吉田研	EVリョウタ号	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	11T～15T
15	皆川 晴翔	日本工業大学 電気電子通信工学科 上野研1	GR UENO	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	20T～
16	新井 瑞基	日本工業大学 電気電子通信工学科 上野研2	Ueno356A	2直3並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	20T～
17	花園 泰	システムニコル EVカークラブ	頭文字N号 Ver.2	6並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	20T～
18	車田 秀雄	福島県立ふたば未来学園高校 情報科学同好会A	ふらみら2023 A	6直	コントローラ純正（従来型）	1mm径（純正）	20T～
19	遠藤 誇幸	福島県立ふたば未来学園高校 情報科学同好会B	ふたみら2023 B	2直3並	コントローラ純正（従来型）	1mm径（純正）	20T～
20	遠藤 悠晟	福島県立小高産業技術高校（ODK@ITCHS-01）	小高の吉名号	2直3並	コントローラ純正（従来型）	1mm径（純正）	11T～15T
21	伊藤 広夢	福島県立小高産業技術高校（ODK@ITCHS-02）	小高の浮舟号	2直3並	コントローラ純正（従来型）	1mm径（純正）	11T～15T
22	千色 志音	福島県立小高産業技術高校（ODK@ITCHS-03）	小高の村上号	2直3並	コントローラ純正（従来型）	1mm径（純正）	11T～15T
23	水村 将久	日本電子専門学校 JECRacing Team河	J23 TypeB	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	16T～19T
24	杉田 悠輔	日本電子専門学校 JECRacing　Team水	MR113	6直	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	16T～19T
25	寺崎 太治	東海大学清水研究室	清水号	6直	NA	1mm径（純正）	20T～
26	村山 颯汰	明治大学電機システム研究室	めいじろう号	3直2並	コントローラ別製品	1mm超径	16T～19T
27	柴野 直人	明治大学電機システム研究室	でゅあるであるなのガァル	3直2並	自作コントローラ	1mm径（純正）	20T～
28	小杉 耀刻	UTFF（東京大学フォーミュラファクトリー）	Franklin	NA	NA	NA	NA
29	永井 明	CQ出版社 Team Interface	PCI Express	2直3並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	20T～
30	仲井 健太	CQ出版社 Team Interface	RB19	3直2並	コントローラ純正（新型）	1mm径（純正）	16T～19T
31	安井教郎	TYLAB Team Y-A-T	Tyun02	6並	自作コントローラ	1mm超径	11T～15T
32	柳原 健也	電動モビリティシステム専門職大学 自動車部	Z-1	6並	コントローラ別製品	1mm径（純正）	20T～

TSUKUBA CIRCUIT MAP

安全で環境にやさしい筑波サーキットには
個性豊かなコースがいっぱい!
日本有数の「超テクニカルなレイアウト」と呼ばれるコース2000、
あらゆるマシンに対応し、走りごたえのあるコース1000、
人気のジムカーナ場や、オートレース選手養成用のオーバルコースなど、
走るのはもちろん、観るのも楽しいサーキットです。
観戦ポイントを移動して、白熱のレースを満喫しよう!
首都圏からも好アクセス!





Get the Glory!

2022 SERIES CHAMPION
DUNLOP TYRE USER

全日本ラリー選手権
Japanese Rally Championship

JN1 H.コバライネン / 北川 紗衣
JN2 中平 勝也 / 島津 雅彦
JN4 西川 真太郎 / 本橋 貴司
JN5 天野 智之 / 井上 裕紀子
JN6 海老原 孝敬 / 蔭山 恵

全日本ジムカーナ選手権
All Japan Gymkhana Championship

JG3 西井 将宏
JG5 茅野 成樹

全日本ダートトライアル選手権
All Japan Dirt Trial Championship

JD1 炭山 裕矢
JD2 目黒 亮
JD3 坂田 一也
JD4 北村 和浩
JD5 細木 智矢
JD6 北條 倫史
JD7 山崎 利博
JD9 工藤 清美
JD11 則信 重雄

GR86/BRZ Cup
PROFESSIONAL Series

冨林 勇佑

DUNLOP MOTORSPORT & SPORT TYRE



DIREZZA 03G | DIREZZA β02 | DIREZZA β11 | DIREZZA ZIII | DIREZZA 74R | DIREZZA 88R | DIREZZA 94R | DIREZZA 95R

DUNLOP MOTORSPORT WEB SITE
DUNLOP MOTORSPORT FACEBOOK
DUNLOP MOTORSPORT YOUTUBE

http://tyre.dunlop.co.jp
月に一度は空気圧の点検を！

タイヤお客様相談室
0120-39-2788
受付時間 平日(月～金)
9:00～12:00/13:00～17:00

移動式 急速充電器 カタログ

JEVRA EV PORTABLE QC SERIES

日本電気自動車レース協会（JEVRA）では、2010年から培って来たEVレースの経験を生かした急速充電器の販売を開始しました。





▶ 持運び可能なEV用急速充電器です。（電源は別途必要です。）

▶ 接続プラグは、日本（CHAdeMO）/アメリカ（CCS1）ヨーロッパ（CCS2）/中国（GB/T）の規格に対応しています。

※接続プラグはCHAdeMOが付属しておりますが、オプションの接続プラグを使用することでアメリカ（CCS1）/ヨーロッパ（CCS2）/中国（GB/T）規格にも対応します。

▶ 移動式急速充電器は、様々な場所でご利用頂けます。

自動車整備工場／マンション駐車場／ビル駐車場／外車並行輸入業者／タクシー会社
レンタカー会社／ホテル・旅館駐車場／ EVイベント会社／テストコース／サーキットなど

※室外でのご利用は避けて下さい。（雨天／直射日光は避けて下さい。）　※本体の操作は、特定少数の方のみで行って下さい。
※本体を稼働する時は、必ず固定してご使用下さい。　※本体には別途、送料が必要です。

No.	型式	定格出力	入力電圧（V）★1	出力電流（A）	サイズ／W×D×H	重量	CCS1 / CCS2 / GBT	価格
❶	JEP143420	**14kW**	3相4線/AC200V	40A@DC350V	66 × 28 × 60cm	36kg	オプション	オープン
❷	JEP201320	**20kW**	単相3線/AC200V	55A@DC350V	66 × 28 × 60cm	41kg	〃	〃
❸	JEP203420	〃	3相4線/AC200V	55A@DC350V	66 × 28 × 60cm	41kg	〃	〃
❹	JEP283420	**28kW**	3相4線/AC200V	80A@DC350V	66 × 28 × 60cm	58kg	〃	〃
❺	JEP301338	**30kW**	単相3線/AC380V	75A@DC400V	78 × 60 × 48cm	100kg	〃	〃
❻	JEP423420	**42kW**	3相4線/AC200V	120A@DC350V	68 × 71× 87cm	120kg	〃	〃
❼	JEP453438	**45kW**	3相4線/AC380V	90A@DC500V	78 × 56 × 59cm	140kg	〃	〃
❽	JEP603438	**60kW**	3相4線/AC380V	120A@DC500V	78 × 66 × 59cm	140kg	〃	〃
❾	JEP631320	**63kW**	単相3線/AC200V	180A@DC350V	62 × 66 × 101cm	150kg	〃	〃
❿	JEP633420	〃	3相4線/AC200V	180A@DC350V	62 × 66 × 101cm	150kg	〃	〃

★1：入力電圧の誤差は±15%～20%です。

JEVRA
JAPAN ELECTRIC VEHICLE RACE ASSOCIATION

［販売元］
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-6-30
株式会社エムアンドティプランニング内
日本電気自動車レース協会（JEVRA）
03-6411-0092　ev-charger@jevra.jp

jevra.jp